

学校教育目標	<p>よりよく生きる ～ 自律・貢献・感謝～</p>	経営理念	<p><ミッション> 温たかなつながりと感動とともに、豊栄の地に質の高い教育を提供する <ビジョン> 夢や志に向かって、自分の頭で考え、自分の心で決め、挑戦し、努力し続ける忍耐力と行動力を持つ生徒 ・学ぶことを大切にし、自分の考えを自分の言葉で伝え、振り返り、深めることができる生徒 ・他者の生命を尊重し合い、いじめや偏見・差別を許さない生徒 ・ふるさと「豊栄」を大切に、貢献しようとする生徒</p>
--------	---------------------------------------	------	--

評価計画					自己評価				学校関係者評価		改善方針			
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方針
							7月	1月						
確かな学力	1	主体的・対話的で深い学びの充実	・自己を表現する力の育成を図る ・自己表現の育成に係る校内イベントの実施 ・全教科全定期試験に表現・活用問題を出題	・ICT機器の効果的な活用 ・キャリア教育に係る校内研修の定期的実施 ・自己表現の育成に係る校内イベントの実施 ・全教科全定期試験に表現・活用問題を出題	(1)①「授業等で自分の考えを自分の言葉で表現している」、②「授業等で学んだことは実生活の中で活かすことができる」と肯定的に回答する生徒【教務・研究】	70%	86.7% ①全61.9 1年73.7 2年50.1 ②全57.2 1年71.4 2年57.5 3年71.4	71.1% ①全65.8 1年63.2 2年75.0 ②全57.2 1年73.7 2年83.3 3年71.4	102%	4	①「授業等で自分の考えを自分の言葉で表現している」65.8%であった。1年生の肯定的回答が増加した。 ②「授業等で学んだことは実生活の中で活かすことができる」76.3%であった。2年生の肯定的回答が増加した。教室に位置していない生徒の否定的回答が目立った。 ・2つの数値を平均して達成値とした。	A5 B1	○評価に基づいて詳細な課題分析が示され、今後に向けた長期的改善方針が明示されています。 ○改善策をしっかりと実行の方針が示されています。 (1)授業での取組や社会での活かし方などよくできている。 (2)1年生については今後の改善方針を明確するとよい。2年生は、いじめやいじめ防止等に関する時期であるため、今後もしっかり認め、自信をつけさせることと更なる肯定的評価が伸びるべきである。評価する場面が多くなることを活用して、自分の考えを表現することを促してほしい。 ・これまでの自己を表現する力の育成に向けた積み重ねが成果として出ている。 ・授業や経験の場を積むことが自己を磨くことにつながっている。 (2)読解力の向上に期待します。 ・乗り入れの高校の教師と連携がさらに深まればよい。 ・2年生の国語、英語が低かった。全体的に2年生の頑張りを期待したい。	(1)①これまで自己を表現する力の育成に取り組んできた。1年生は、年間を通じて様々な表現活動を行うなかで、自己の力を客観視できるようになり、厳しい評価となったと考える。2年生は、修学旅行等でのリーダーとしての経験や、実践の場での表現活動を通して成長を実感できたことが数値の向上につながったと考える。 (2)学習支援が必要な生徒へのアプローチが必要である。学習に目を向けさせる学掛けをしながら、学びを実生活に活かす場面を具体的に考える場面に積極的に設定すること等を実施していきたい。 (2)実力テストの正答率が低い要因として、問題文が理解できない読解力の不足があげられる。そこで、今後は次の2つの手立てを行っている。 ①読解力向上：教科書の音読 ②長文の練習：過去問題に取り組むことで、長文の問題文から必要な情報を読み取る力をつけていく。
						60%	46.6%	全39% 1年43% 2年23% 3年51%	65%	2	・目標値を下回る結果となった。各教科による全国平均を上回る生徒は1年生 国語68.4% 社会57.8% 数学26.3% 理科26.3% 英語36.8% 2年生 国語35.2% 社会35.2% 数学11.7% 理科23.5% 英語11.7% 3年生 国語71.4% 社会57.1% 数学42.8% 理科28.5% 英語57.1% であった。	A2 B4		
						70%	50% 1年57.9 2年31.3 3年71.4	83.2% 1年68.4 2年50.0 3年71.5	90%	3	学年ごとに生徒相互に評価し合う活動を取り入れたことで、7月に比べて1・2年生の肯定的評価の数値の向上が見られた。	A4 B2		
豊かな心・健やかな体	2	自己指導力の育成を目指した生徒指導の充実	・自己肯定感と自己有用感を高める教育活動を推進する ・継続的な体力づくりと健康な体づくりを推進する	・緑化活動の推進 ・主体性を尊重した生徒会活動の推進 ・命を大切にす防災教室の実施	(3)「自分には良いところがある」と肯定的に回答する生徒【生徒指導】	80%	75.6% 1年73.7 2年75.0 3年83.4	65.7% 1年57.9 2年66.7 3年85.7	82%	3	1・2年生の肯定的評価が前回を下回った。人前に出ることに苦手意識を持つ生徒の否定的な評価が目立った。	A4 B1 N1	(3)生徒相互に評価し合う活動では、単なる行動面の評価だけではなく、行動面からどのような長所や成長を感じられたのか具体的な例を示すなど内容の向上を図っていく。また、否定的な評価の生徒に対しては、面談等の個別の対応を行う。 (4)トレーニング集会・歌声集会・緑化集会等、生徒主体で、縦割り班で成長を見つけていく。また、魅力的な活動を仕組んでいく。また、楽しみながら活動させるとともに、生徒が自らの頑張りを実感できるように、先輩からのメッセージ等の掲示等を工夫する。 (5)マナー講座の実施と関連させ、生徒朝会や行事の際には折に触れて、礼や話を聞く姿勢について全体指導を行ってきたことが数値の向上につながったので、継続していく。	
						80%	83.3% 1年84.2 2年81.3 3年85.7	94.8% 1年100 2年91.7 3年85.7	118%	4	全学年で目標値を上回る結果となった。外部の方が来校する機会を多く設定することにより、生徒が「先着後礼」や「身だしなみ」を意識するようになったと考えられる。	A5 B1		
						75%	75% ①全88.1 1年89.4 2年81.3 3年100 ②全61.9 1年68.4 2年56.3 3年57.1	75% ①全81.6 1年66.2 2年66.6 3年100 ②全68.4 1年73.7 2年66.7 3年67.2	100%	4	「今住んでいる地域が好きだ」81.6%、「地域に貢献していると思う」68.4%であった。2つの数値を平均して達成値とした。 ①2年生の意識の低下がみられる。 ②地域貢献に対する生徒の意識の数値は、実際に行っている活動とのつながりに生徒の目を向けさせることができたために向上が見られた。	A5 B1		
信頼される学校	3	地域の活性化に貢献できる学校づくりの推進	・地域に感謝し、貢献しようとする生徒を育成し、地域に喜ばれる教育活動を推進する。 ・小・中・高の接続・連携教育の充実を図る。	・地域行事への参加 ・異校種との積極的な交流や連携	(6)「今住んでいる地域が好きだ」「地域に貢献していると思う」と肯定的に回答する生徒【教頭】	85%	92.8% 生全81.0 1年84.2 2年75.0 3年85.7	94.2% 生全89.5 1年89.4 2年83.3 3年100	111%	4	生徒89.5%、保護者93.1%、教職員100%であった。3つの数値を平均して達成値とした。	A5	(6)令和6年度より小中一貫教育が導入される。その中で、総合的な学習の時間を中心とした取組の推進を図る。これまでの地域密着した活動に加え、自然科学分野の体験学習を計画している。その中で、生徒の地域に対する思いを深めていきたい。	
						80%	93.4%	93.4%	117%	4	「働き方改革」のもと、ICTの活用や、業務の精選等の成果により、教職員が業務に対し計画的に取り組む、生徒と向き合う時間を確保できたと考える。	A5		

■自己評価
 4...目標を上回って達成 (100 ≤ 目標達成)
 3...目標どおりに達成 (80 ≤ ほぼ達成 < 100)
 2...目標をやや下回って達成 (60 ≤ もう少し < 80)
 1...目標をかなり下回って達成(できていない < 60)

■学校関係者評価
 A...とても適切である
 B...概ね適切である
 C...あまり適切でない
 D...全く適切でない
 (N...判定できない)